

## 2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 13 日作成)

小委員会名	農山漁村文化景観小委員会	主 査 名：神吉紀世子 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：三橋伸夫
設 置 期 間	2010 年 4 月 ～ 2014 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農山漁村の「文化的景観」保全に取り組む先行事例の比較研究</li> <li>・ 2006～2009 年度農山漁村景観保存小委員会の成果を発展させ、文化的景観に関する書籍を出版する</li> <li>・ 各地の事例地においてワークショップ等を開催し技術的支援を行う</li> </ul>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：神吉紀世子 (京都大学) 幹事：小浦久子 (大阪大学)、工藤和美 (明石工業高等専門学校) 委員：宮川智子 (和歌山大学)、平田隆行 (和歌山大学)、福島綾子 (九州大学)、中尾史郎 (京都府立大学)、熊野稔 (徳山工業高等専門学校)、植田暁 (NPO 法人景観ネットワーク)、川口友子 (農村開発企画委員会)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2011 年度予算	130,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.ajj.or.jp/nouson/s0/">http://news-sv.ajj.or.jp/nouson/s0/</a>

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 『未来の景を育てる挑戦 -地域づくりと文化的景観の保全-』(技報堂出版)
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 文化的景観フィールドスクール 2012「東播磨の採石と水利用による文化的景観」 参加者数 33 名
大会研究集会	1. 研究協議会：未来の景を育てる保全 -農山漁村の地域づくりと文化的景観- 『農村計画部門研究協議会資料：同上』 参加者数 45 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 活動計画のとおり、大会開催にあわせて書籍刊行と研究集会(大会研究協議会)の開催を実現した。 2. 前年度に試験的開催をしたフィールドスクールを、催し物として兵庫県高砂市にて開催。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 書籍の出版を実現したので、さらに議論を発展させる方向で、フィールドスクール開催などの充実をはかっていきたい。 2. 従来から検討中となっている HP の活用方法について、国内・国外への成果の発信の在り方を考えつつ、具体的対応を実現したい。